

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について

 ●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

 電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- ＋（プラス）、－（マイナス）を逆に入れないでください。
- 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落してから入れてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が＋50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- ほこりが多く発生する所。（空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。）
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 浴室など、湿気が多い所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

こんなときには

時計が正しい時刻で動いていない。

- 受信マークが表示されているか確認してください。受信マークが消えている場合は正常に受信できていないためですので、「電波を受信できない場合」をご覧ください。受信マークが表示されている場合は強制受信ボタンを押してください。

- 電池の残量が少なくなると誤表示の原因となることがあります。電池を新しいものと交換してください。

指定した時刻にアラームがならない。

- アラームの時刻設定で、午前・午後の指定はあっているか確認してください。

受信できなくてもアラーム機能は使えますか？

- 電波を受信できる、できないに関係なくご利用いただけます。受信できない場合は、手で現在時刻を合わせてからお使いください。

強制受信ボタンとリセットボタンの違いは？

- 強制受信ボタンは、受信を行うだけですが、リセットボタンは、搭載されているマイコンの状態を初期化してから受信を開始します。このため、アラーム時刻を再度設定し直す必要があります。

今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。

- 標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波（送信停止）することがあります。停波に関する情報は「通信総合研究所」のホームページに掲載されています。ホームページアドレス <http://jjy.crl.go.jp>

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。

お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、この商品の製品番号「**8RZ005-0**」をお伝えください。

■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005
☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

札幌支店 ☎003-0030 札幌市白石区流通センター1-6-2 ☎(011)863-3788
仙台支店 ☎983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-10-36 ☎(022)291-3235
北関東支店 ☎370-0862 高崎市片岡町3-2-12 エコマジョンプラザ ☎(027)322-7892
東京支店 ☎110-0005 台東区上野6-16-22 上野T.Gビル5F ☎(03)5807-7814
名古屋支店 ☎460-0008 名古屋市中区栄5-19-31 ☎(052)264-4581
大阪支店 ☎542-0081 大阪市中央区南船場2-7-30 ☎(06)6264-2388
広島支店 ☎730-0054 広島市中区南千田東町1-12 ☎(082)244-7774
福岡支店 ☎816-0097 福岡市博多区半道橋1-11-14 ☎(092)471-5585

所在地・電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。
Y0311
発売元 リズム時計工業株式会社
本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

取扱説明書番号 **8RZ005-4**

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

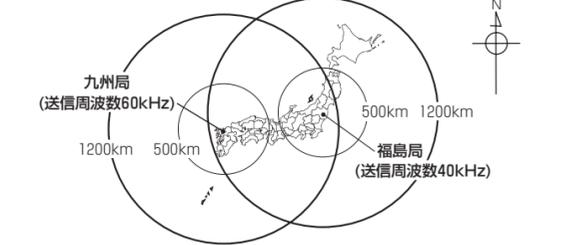
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。標準時の信号は、通信総合研究所の維持する国家標準により常に高い精度に保たれています。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。(<http://jjy.crl.go.jp>)

電波の受信範囲について

条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下など



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



電化製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。



朝夕の時間帯、雨天のとき

※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。
※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。

CITIZEN®

電波時計

(デジタル目覚まし時計)

取扱説明書

アフターサービスについて

お買い上げいただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保存してください。

全国自動受信

■海外での電波時計の使用について

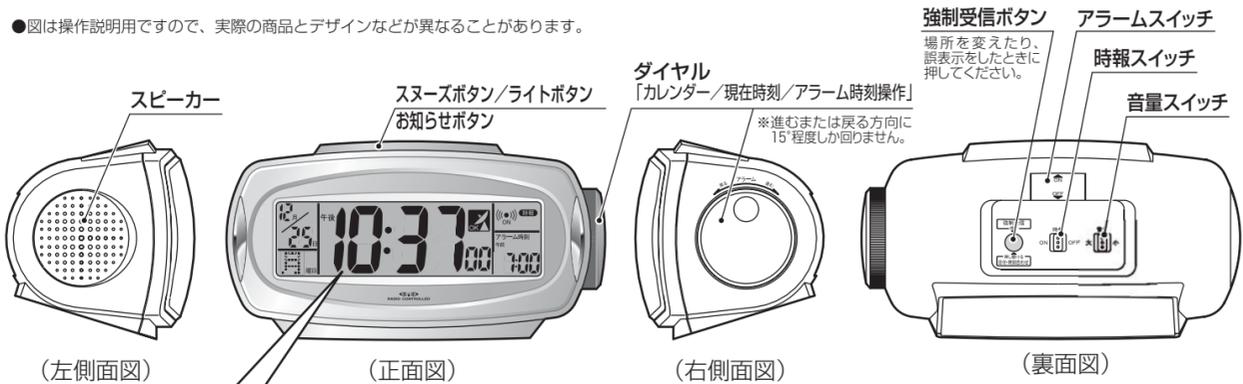
この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合わせをして使用していても、まれに日本標準時を受信し、日本の時刻を表示してしまう恐れがあります。

■Regarding Overseas Usage of The Radio Wave Clock
This clock is intended for use within Japan. It is not suited for overseas use. Even if the time is adjusted manually, Japan time may still be displayed due to infrequent reception of Japan standard time signals.
This clock can only receive Japan Standard Time signals.

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

各部の名称

●図は操作説明用ですので、実際の商品とデザインなどが異なることがあります。



<表示面詳細>

現在時刻表示
「午前/午後 時:分 秒」

カレンダー表示
「月/日」

曜日表示

受信マーク
受信成功: 点灯 受信失敗: 消灯
受信中マーク
電波受信中のみ点滅

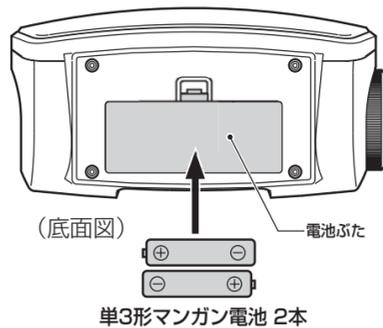
アラームマーク
点灯: アラームON
消灯: アラームOFF

時報マーク
点灯: 時報が鳴る
消灯: 時報が鳴らない

アラーム時刻表示

西暦年表示
手動時刻合わせのとき

※時刻は、「午前」「午後」の12時間制です。
※表示例は、説明用のものです。



電池を入れる前にお読みください

◇アラームスイッチを必ず、「OFF」にしてください。
「ON」の状態では、電池を入れたとき、またはリセットボタンを押したときに自動受信に切り替わりません。このような場合は、強制受信ボタンを押して、受信させてください。◇音声による時刻などの読み上げ音量は、音量スイッチの「大」「小」から選択することができます。

スヌーズボタンはライトボタンとお知らせボタンを兼ねています

ライトボタンの機能について

スヌーズボタンを押すと約3秒間、表示パネル部を照明します。
※照明時、暗いところでは、時計下方から見ると、表示が見えにくくなります。

お知らせボタンの機能について

1回押したとき:現在時刻を「ビィ」「午前6時20分です」のように読み上げます。
2回押したとき:月日、曜日を「ビィビィ」「9月30日月曜日です」のように読み上げます。
※2回押すときは、1秒以内に押してください。

時報スイッチについて

時報スイッチを「ON」にすると毎正時に音声で時刻をお知らせします。
例、「午前10時です。」「ポッ」「ポッ」「ポッ」「ポーン」(最後に正時)時報スイッチを「ON」にすると、「ビィ」「時報オンです。」と音声でお知らせします。また、表示パネルには「時報」マークが表示されます。
※正時にアラーム時刻を設定した場合、アラーム音が優先し、報時音の最後の「ポーン」は鳴りません。(時報ON、アラームONのとき)

はじめて使うとき、電池を交換するときの操作

1 電池を入れて受信を開始します (電池を交換するとき)

レバー押してから開く

電池ふた

単3形マンガン電池 2本

①アラームスイッチをOFFにします。
②時計底面にある電池ふたを取り外します。
③電池ホルダーの ⊕ ⊖ の表示と電池の ⊕ ⊖ を合わせて入れます。
④電池ふたを取り付けます。
※電池交換するときには、同一種類の新しい電池2本と交換してください。

電池の ⊕ ⊖ を入れ間違えた場合、電池の漏液・発熱・破裂する原因となり、人的・物的損害が発生することがあります。

2 受信が完了するまで待ちます

受信マーク

受信中マーク

時計を電波の受信しやすい場所、たとえば窓際などに時計を置き、受信が完了するまでおおよそ14分間(最大)待ちます。
電波の受信中は、受信中マーク(受信中)が点滅し、終了すると消灯します。

3 電波受信の結果を確認する

受信マークの状態の結果を確認します。

電波読取中

結果

点灯 OK → 受信成功
正しい時刻を表示します。

消灯 → 受信失敗
「電波を受信できない場合」の項をご覧ください。

受信中マークは受信結果がでると消灯します。

リセットボタンについて

リセット

誤動作をしたときに、時計底面の電池ふたを開け、「リセットボタン」を先の細いボールペンなどで押すことによって初期化してから強制的に電波受信を開始します。

※静電気により、誤動作することがあります。この場合はリセットボタンを押してください。

※リセットボタンを押した場合、または電池を交換した場合

- アラーム時刻を再度設定する必要があります。
- アラームスイッチをOFFにしてください。ONの場合、自動受信が行われません。

アラーム機能の使い方

アラーム音について

アラーム音の内容は次の4種類です。

- ① 小さい音で「ビィビィ」が3回繰り返します。
- ② 音声で月日、曜日、現在時刻を読み上げます。
- ③ 中くらいの音で「ビィビィ」が約5秒間鳴ります。
- ④ 大きい音で「ビィビィ」が約90秒間鳴りつづけます。

アラームは①→②→①→②→①→②→③→④の順で進行します。

アラーム時刻の設定方法

ダイヤルを「進む」または「戻る」方向に回すとアラーム時刻を設定・変更できます。同じ方向に回していると速く数字が変わります。

※アラームスイッチの「ON」「OFF」に関係なく、設定できます。※不用意に、ダイヤルに触れると、アラーム時刻が変わります。

ダイヤル操作をすると「ビィ」という音がして、アラーム時刻表示が点滅します。また、ダイヤル操作を止めると、設定した時刻を読み上げます。5秒以上ダイヤル操作をしないとアラーム時刻表示の点滅が止まります。

音声により、進行状況に合わせ設定内容を読み上げます。

例
アラームモードになったとき :「アラーム時刻を合わせます。」
ダイヤル操作を止めたとき :「アラームは午前7時です。」

アラームスイッチの使い方

アラームスイッチを「ON」にすると、設定したアラーム時刻にアラームが鳴り出します。

止めるとき、またはアラームを鳴らさないときには、「OFF」にします。

アラームスイッチを「ON」にすると、設定してあるアラーム時刻を読み上げます。
例、「ビィ」「アラームは午前7時です。」

アラームを繰り返し鳴らす(スヌーズ機能)

アラームが鳴っている間に、スヌーズボタンを押すとアラームがいったん止まり、約5分後に再び鳴り出します。最大7回まで利用できます。表示パネル

- ▶スヌーズ動作中はアラームマーク点滅
- ▶スヌーズ操作7回目以降は無効になり、アラームマークが点灯します。

アラームの鳴り時間について

アラームは連続して約2分間鳴りつづけると自動的に止まります。(オートアラームストップ機能)

※オートアラームストップが機能した後では、スヌーズ機能は使えません。

※電波を受信できない場合

- 時刻が止まったり、時刻が合わない場合
強制受信ボタンを押して、おおよそ14分間そのまま待ちます。
- 朝までそのまましておく
夜間は電波状況が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。次に、強制受信ボタンを押して、おおよそ14分間そのまま待ちます。

受信できないときは、下記操作でカレンダーと時刻合わせができます

※この場合の精度は、平均月差±30秒以内となります。
※手動で合わせても、受信に成功すると、カレンダー・時刻は自動的に修正されます。

○手動での時刻の合わせ方

カレンダー/時刻の合わせ方

強制受信ボタンを押す

押し続ける 日付・時刻合わせ

戻る 進む

- 強制受信ボタンを約2秒間押しつづけると、手動による時刻合わせができます。
- 西暦年→月日→時刻の順で設定します。
 - 数値の設定にはダイヤルを「進む」または「戻る」方向に回します。同じ方向に回していると速く数字が変わります。
 - 数値の決定には「強制受信ボタン」を1回押します。

例: 2002年9月30日(月)午後3:15分に合わせる場合

1. 西暦を合わせます。
ダイヤルを操作して2002年に合わせ、強制受信ボタンを押して確定します。(進む・戻るダイヤルは同じ方向に回していると速く数字が変わります。)
2. 月日を合わせます。(曜日は自動的に変わります)ダイヤルを操作して9月30日月曜日に合わせ、強制受信ボタンを押して確定します。
3. 時刻を合わせます。ダイヤルを操作して午後3:15分に合わせ、強制受信ボタンを押して確定します。強制受信ボタンを押したとき、秒は0秒になります。

※ダイヤルを30秒操作しないと、通常の表示に戻ります。途中で設定された値が有効になります。

音声により、進行状況に合わせ設定内容を読み上げます。

例
操作の流れ
手動合わせになったとき(時刻合わせボタン2秒以上押す) 「ビィビィ」「年を合わせます。」
ダイヤル操作をしないとき* 「2002年です。」
西暦年を確定したとき(時刻合わせボタンを押す) 「ビィ」「月日を合わせます。」
ダイヤル操作をしないとき 「9月30日月曜日です。」
月日を確定したとき(時刻合わせボタンを押す) 「ビィ」「現在時刻を合わせます。」
ダイヤル操作をしないとき 「午後3時15分です。」
時刻を確定したとき(時刻合わせボタンを押す) 「ビィ」「9月30日月曜日、午後3時15分です。」

※ダイヤルが「進む」/「戻る」にない状態が1秒以上続いたとき

強制受信ボタンについて

強制受信ボタンを押すと、「電波を受信します。」と音声で知らせ、受信中マークが点滅を開始します。通常は受信に失敗したとき、または設置場所を変えたときに使います。